



1月のメッセージより

新約聖書によく名前が出てくるパウロさんは、実は始めはイエス様を信じる人々を迫害する立場の人でした。パウロさんは誰よりも旧約聖書に語られている神様を熱心に信じ、また詳しい人でした。パウロさんの一番の関心事は誰よりも神様に愛され、また愛することでした。でも「その神様=イエス様」とは信じられませんでした。だから「イエス様を信じる人=神様を侮辱する人」と思い、これまた誰よりも熱心に迫害したのでした。神様はそんなパウロさんに「何故私を迫害するのか」と現れて下さいました。そしてパウロさんはイエス様のお弟子さんと共にパワー全開でイエス様を述べ伝える人になりました。

また「イエス様はユダヤ人だけの神様だ」と思っていたペテロさんにも神様は幻を通して「私たちの罪のために死に、そして蘇えられたイエス様を信じるなら誰でも救われる」ことを教えて下さいました。

神様は、言葉では上手く表現できないけれど、心の中で神様を求める人に必ず応えて、導いて下さるお方です。ふと独りの時間が出来たとき、心静かに「イエス様」って祈ってみてね。

1日 2月生まれのお友達のお誕生祝福のお祈りがあります。

“バレンタインデー”豆知識

バレンタインデー (Saint Valentine's Day) の始まりは、3世紀 (ローマ) までさかのぼります。結婚は神様からの祝福なのに、戦いの障害になるからといって結婚を禁止された兵士を哀れに思い、内緒で結婚式をしてあげていたキリスト教司祭バレンタインは、皇帝に捕らえられました。投獄されても看守達に神様の愛を語った彼は、ついに2月14日に処刑されてしまいました。この人が5世紀に聖人 (Saint) に加えられ、次第にこの日に愛する人にプレゼントを贈るようになりました。欧米では、恋人や友達、家族がお互いにカードやお菓子を贈りあいます。女性が男性にチョコレートあげるのは、日本だけ。「1958年に東京都内のデパートが始めたバレンタインセールに乗せられて現在に至る！」とか。美味しいチョコレートもいっぱいけど、バレンタインが自分の命をかけて伝えた神様の愛「イエス様」も忘れないでね。

2月のメッセージの聖書箇所 CS通信<http://church.jp/kusanagi/>

	聖書箇所	あらすじ
1日	使徒行伝14章	これは大変！パウロとバルナバが神様にされそうになりました。
8日	” 15:1~36	エルサレムでとっても大切な会議が行なわれました。
15日	” 15:36~16:10	デモテ登場！・・・ところでデモテって誰？
22日	” 16:11~40	「主イエスを信じなさい。そうすればあなたもあなたの家族も救われます」
29日	” 17章	偶像いっぱいのアテネの町にもイエス様を信じる人はいました。